

Enigma Sopranino の導入(2) —FAL C90EXW への付加(1)—

1. 始めに

前報(1)に述べた経過により Enigma の Sopranino を導入し本格的な試聴を始めることにしました。今回は、まず FAL C90EXW への付加から始めますが、既に借用機を用いた [Enigma Sopranino の試聴\(1\)](#)において FAL C90EXW への付加について報告していますので、そのトレースから始めます。

2. Sopranino の試聴方法

Enigma Sopranino の試聴(1)においては現状のシステムに次のような条件で変更を加えて試聴しています、

現在、FAL C90EXW は、しなの音蔵の 300B シングルアンプから平面ユニットとハイルドライバーにスピーカーリベラメンテでバイワイアリング接続しており、ハイルドライバーにはムラタの ES-103A をパラで接続しています。Sopranino への結線は Western の単線ケーブルで延長します。なお、Sopranino はローカットを Lo:8kHz, Mid:10kHz, Hi:12kHz で切り替えたり、アッテネーション・コントロールを-3dB と 0dB に切り替えたりすることができます。

- ①ハイルドライバーと ES-103A への結線と平行に Sopranino に結線する。
- ②ハイルドライバーと ES-103A への結線を外し、Sopranino に単独結線する。
- ③ES-103A への結線は残して Sopranino に結線する。
- ④ハイルドライバーへの結線は残して Sopranino に結線する。

Enigma Sopranino の試聴(1)においては音源は主に DSD 音源を HQplayer の Native 再生で、次のルートで試聴しましたが、今回は主にリモコンで多くの音源を選択できる BS 録画の再生で聴いてみました。

3. Sopranino の試聴結果

基本的には Enigma Sopranino の試聴(1)における結果の再現となりました。以下は、Enigma Sopranino の試聴(1)の報告内容ですが、これに付け加えることはありません。

「①ハイルドライバーと ES-103A と平行に Sopranino に結線した場合は、単純に Sopranino を追加しただけで驚くほど様変わりました。弦はあくまで艶やかで、音の立ち上がりと切れ味が良く、オケの分離、アンビエンスのノイズまでリアルそのものです。ローカットは Lo:8kHz や Mid:10kHz より Hi:12kHz の方が良いでしょう、

Loの方にするとハイルドライバーとの重なりで高域が強くなりすぎるようです。そのため、アッテネーション・コントロールを-3dBにしてみました。高域の強さは抑えられるものの **Sopranino** の艶やかな音色は後退します。

②**Sopranino** を単独で結線した場合は、弦の艶は残りますが、仮想同軸の真ん中のハイルドライバーが働いていませんので、繋がりが悪くなります。ローカットを **Lo:8kHz** まで下げても **Sopranino** は **FAL C90EXW** の上に載せていますので、音のまとまりがばらばらになります。

③**ES-103A** と平行に **Sopranino** に結線した場合は、②から **ES-103** が加わった分アンビエンスの雰囲気は良くできるようになりましたが、その他は②の場合について述べたことと変わりません。

④ハイルドライバーと平行に **Sopranino** に結線した場合は、元の①に戻ったような感じですが、さらに **ES-103A** を追加して①の結線に戻してみますと、漂うような雰囲気が出てきましたので **ES-103A** の超高域も意外に寄与しているようです。」
即ち、ハイルドライバーと **Sopranino**、**ES-103A** と **Sopranino** とも共存共栄といった感じで、それぞれの良さが生きてきます。



なお、設置条件は **Enigma Sopranino** の試聴(1)の条件と同様で、**ES-103** を外側に持ってきています。

4. まとめ

[Enigma Sopranino の試聴\(1\)](#)の結果どおり、現状のシステムに **Sopranino** を単純に付加するだけで大きな効果が得られることが分かりました。

以上